

【農業土木施工】

水食の仕組みと因子に関する次の記述のA～Cに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

細流浸食を放置したところ、畑の畝間、くぼみなどに雨水などの流出水が集まり、次第にそこを削って、耕作の支障となる大きな溝に発達する現象を  という。

水食は、一般に土地の傾斜が急になるほど、地表流出水の流れる斜面長が  ほど、浸食はひどくなる。また、土層の浸透能も水食の程度に影響し、浸透能の小さい土層では、降雨が地中に浸透しにくく、地表流が発生するため、水食が  。

	A	B	C
1. 面状浸食	短い	起こりにくい	
2. 面状浸食	短い	起こりやすい	
3. 面状浸食	長い	起こりにくい	
4. ガリ浸食	短い	起こりにくい	
5. ガリ浸食	長い	起こりやすい	

【農業土木施工】

1800 m<sup>3</sup>（締固めた土量）の盛土を造成するために必要な地山の土量と、ほぐした土量の組合せとして妥当なのはどれか。

ただし，土量の変化率は，ほぐし率を1.2，締固め率を0.9とする。

	地山の土量	ほぐした土量
1.	1500 m <sup>3</sup>	1350 m <sup>3</sup>
2.	1620 m <sup>3</sup>	1350 m <sup>3</sup>
3.	1620 m <sup>3</sup>	2160 m <sup>3</sup>
4.	2000 m <sup>3</sup>	2160 m <sup>3</sup>
5.	2000 m <sup>3</sup>	2400 m <sup>3</sup>